

生食液の混注可能量

容器の混注可能量は以下の通りです

本剤の容器の混注可能量・全満量（平均値）

製剤名	混注可能量（mL）	全満量（mL）
生食液バッグ 100mL「CMX」	約 7	約 223
生食液バッグ 500mL「CMX」	約 18	約 655

※混注可能量：容器内の空気を残したまま混注できる薬液の量

※全 満 量：表示量+容器内の空気を抜いて混注できる薬液の量

注）空気を抜いて混注した場合は、投与の際に空気針が必要となります。

《ご利用上の注意》

- 参考情報としてご利用いただくことを目的としており、他注射薬との混注を推奨するものではありません。
- 混注を行う場合は、内容液が汚染されないよう常に清潔操作を心がけてください。また、あらかじめ各注射剤の添付文書を必ずご確認ください。
- 混注により容器内圧が上がっている場合、針刺し時に内容液の噴き出し等を生じることがあります。